



ロータリーは機会の扉を開く

ふれあい

福山南ロータリークラブ 週報

2020-21 年度

第 12 号

2020 年 10 月 29 日
第 2732 回例会 配布



RI 第 2710 地区
創立 1963.10.3 承認 1964.1.27
チャーターナイト 1964.9.27

会長 松本猛 / 会長エレクト 高橋敦 / 副会長 三吉孝治 / 幹事 寺岡宏昭 / 副幹事 松本知
例会会場 福山ニューキャッスルホテル / 事務局 〒720-0066 福山市三之丸 8-16 福山ニューキャッスルホテル
Tel:084-924-5096 Web site URL:http://fukuyamasouthrotary.jp/ E-mail address:info@fukuyamasouthrotary.jp

2731回例会報告 2020年10月22日(木)

点 鐘 松本会長
司 会 菅本SAA
ソング 「四つのテスト」

<会長報告> 松本会長



前回 10 月の指定月間、経済と地域社会の発展について話しましたが、もう一つ米山月間がありますので米山記念奨学会について話して見たいと思います。

皆さんの年次寄付金の内 16000 円が米山記念奨学会支援金として納められております。内訳は会

費としては 8000 円を徴収し後の 8000 円はコインBOX(赤ポスト)職場例会などの弁当の差額とクラブからの出金でまかなっておりますので地区からの目標とされる金額をクリアしております。

米山記念奨学会についてですが、1952 年東京 RC が立案して 1953 年に日本のロータリークラブ発足に貢献された米山梅吉氏の功績を記念して米山基金の募金を開始しました。米山氏が始めたと思っておりましたが、亡くなった後に始まった事業です。5 年後には全国のロータリークラブの共同事業となり財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されております。世界各国から優秀な人材の日本への留学を支援して平和国日本を感じ、理解してもらい帰国後の世界の国々を担う人材になって頂き日本の良さと平和を世界に伝え、将来の友好関係を築ける為に支援しています。福山南 RC も何年かに一度世話クラブとして米山留学生のお世話をしていますが又そろそろ回って来るかもしれませんその時は協力宜しくお願いします。

最近では約 800 人の奨学生の支援をしています。総予算 14 億 7500 万円に対して支出 15 億円となっております。追加寄付の要望が有るかもしれません。卒業すると学友会という同窓会クラブの

様な組織に入り国内、海外での色々な活動をしております。もちろんロータリークラブ、日本に対して感謝と好意の気持ちで帰国してほしいと思います。

<幹事報告> 寺岡幹事



◆ 地区事務局より
・ガバナー公式訪問のお礼状
・End Polio Now リゾースのご案内

◆ 米山記念奨学会より
・ハイライトよねやま 247 号

◆ 福山市心身障害児者父母の会より「友情の一筆箋」支援のお願い

◆ 例会変更ならびに休会のお知らせ

福山 RC	休会	11/23(月)法定休日/勤労感謝の日
福山西 RC	休会	11/3(火) 法定休日/文化の日
福山東 RC	変更	11/4(水)→11/7(土)11:00～子ども食堂支援事業/(福山すこやかセンター)
	休会	11/25(水)クラブ細則第 5 条第 2 節

<出席報告> 大西出席委員長



第2731回 例会	会員総数	56名	ゲスト	0名
	会員出席数	38名	ビジター他	0名
	出席率	71.7%	出席者総数	38名
第2729回例会出席率		69.81%	修正出席率 94.34%	
コロナ特別規定/13名				

(注)出席免除者7名 内4名出席 38÷53=71.7%

<親睦委員会報告> 小島親睦委員長

パートナー誕生日祝:井上昌成10/19
事業所創立記念日祝:大西毅1944/10/1
入会記念日祝:羽柴香恵2019/10/10
100%出席表彰:田頭和規11年

<スマイル・ボックス> 小島親睦委員長

※お陰様で無事ガバナー訪問を終え、ガバナーからお褒めの言葉までいただき、会長幹事理事一同肩の荷がおりました。
・ **松本会長**

※いつもありがとうございます。田頭前会長様、100%出席11年、素晴らしいです。これからも背中を見ながら生きていきます。これからも健康と幸せを祈っています。
・ **羽柴さん**

※立派に卓話をされることを楽しみにしています。頑張って、下川さん！
・ **中嶋さん**

※佐藤さん、過日には竹取りありがとうございます。
・ **菅本さん**

※事務所を移転しました。多治米から大黒町になりました。また皆様にはご連絡致します。宜しくお願いします。
・ **田頭さん**

※瀬来分団長、YAC事業再開と180回事業のご盛会誠にめでとうございます。
・ **小島さん**

<委員会報告>



◇「クリスマス家族親睦夜間例会」のご案内/小島親睦委員長

日時:12月25日(土)

18:30~

場所:福山ニューキャッスルホテル

☆本日より出欠回覧をしておりますのでご記入を宜しくお願い致します。

<プログラム> 新入会員卓話

下川 哲生さん(大樹生命保険株式会社 福山支社)



こんにちは、大樹生命保険株式会社(以下大樹)の下川です。本日の卓話にあたり、ここ2日間夜も眠れず、久しぶりに緊張というものを味わいながら本日を迎えました。しかしながらこんな重大な日に親(瀬来さん)

が欠席とはどういうことでしょうか?子供の授業参観に親が欠席するなんて・・・瀬来さんの恐怖の顔が無いので逆に安心してお話できるやもと思っておりましたが、別の親(日本生命保険相互会社・以下日生)の中嶋さんがスマイルを入れて「頑張っ！」など心にも無いプレッシャーをかけられた状況の中ではございますが、宜しくお願いいたします。

まずは当社の企業紹介をさせていただきます。当社は1927年(昭和2年)高砂生命保険株式会社を社名変更し「三井生命保険株式会社」として発足いたしました。初代社長は團 琢磨(だん たくま)、三井グループの総帥として名をとどろかせた人物です。1858年に生まれ、1932年没(73歳)まで、三井グループ内に多大な功績を残し、特に三井三池炭鉱に力を注ぎました。当社のスローガンであります「いつの時代も、お客さまのためにあれ」の精神は私どもに受け継がれております。「人を大切にする、人を育てる精神」これが三井グループの精神であり、当社の精神でもあります。何となく瀬来さんに顔が似てるように思うのは私だけでしょうか? 実は私はこの團 琢磨が活躍した三池炭鉱のある福岡県大牟田市よりこの度、福山へやってきました。ちなみに新大牟田駅という新幹線駅前には約5mほどの団 琢磨像が建てられております。

実は、三井生命発足(1927年)より7年前・・・1920年に当時三井銀行の重役であった「米山 梅吉(よねやま うめきち)・52歳」が渡米後、「東京ロータリークラブ」の設立に大きな影響を与えております。米山基金の件で冒頭会長よりお話があった米山さんです。当時52歳ですから、恐れ入ります。くしくも現在の私の年齢で大きな偉業に関わっておられたのです。その時、團 琢磨は62歳。米山さんは78歳で生涯を閉じてます。このような流れもあって、「三井グループ」=「人の三井」といつしか呼ばれるようになっていったのです。時は流れ1947年戦後、三井生命保険株式会社は相互会社として新しい船出をしました。順調に企業価値を高め、お客様からの信用を得ていた矢先に何を血迷ったのか当時の幹部が、保険会社だけに与えられた特権であった相互会社を捨て、2004

年株式会社へ組織変更してしまったのです。当時の戦略としては内外より広く資金を集め、更なる拡大を目指そうと試みたのですが、暗黒期がやってまいりました。2008年の「リーマンショック」です。日経平均株価も最安値で7,126円90銭まで落ち込み、三井生命大丈夫か?!と置いていたところ、三井グループ各社より500億の劣後ローンを組んでいただき、難を回避できました。三井グループ企業は、これまでグループ内で倒産会社を出していないのはやはり「人の三井」がそうさせているのかもしれませんが、とは言え、当社も身を切る対応をせざるを得なく、約2,000名のリストラを断行いたしました。私は当時30代でしたので、このリストラ要員には該当しませんでした。多くの先輩(人材)を失ったのも事実です。そのような難局を乗り越えながら、2015年日生との経営統合を発表し、2016年経営統合に至りました。日本一の生命保険会社と三井グループの看板で、当時の私たちは「これからもっともっと大きな仕事が進み、成長できそうだね」などと考えていました。しかし、世の中はそうそう甘くなかったのです。三井御三家の「三井物産・三井住友銀行・三井不動産」が「三井生命さん、新しい社名はどうするんですか?」と言われてしまったのです。風の噂ですが、当時の三井生命幹部は「何とかなるさ!」と高をくくっていたようですが、現実そう甘くなかったようで、三井グループの資本が50%以上入っていない場合、「三井」名は付けられないという三井グループの鉄の掟があったのです。日生の資本が51%入っていましたので、3年以内に社名を変更せざるを得なくなったのです。グループ各社からは「三井グループから外れる訳では無いので、気にしなさんな・・・」と言われたとか、言われなかったとか・・・日生からすると「三井の名を日生グループに入れたかったのに名前が変わるなんて聞いてないぞ!」と猛烈に抗議したとか・・・。そんなこんなありながらも2019年三井生命は大樹生命として誕生いたしました。「大樹のようにしっかりと大地に根をはり、晴れの日も雨の日もしっかりとお客さまを守り、多くの人が集まってくる保険会社を目指そう」として誕生しました。

大樹と日生の規模の違いは、従業員は日生が7倍、総資産は日生が11倍となります。

しかし、「ちょっと待った!」半沢直樹では無いですが、親会社の言いなりばかりになってるわけにはいきません!皆さんは「ソルベンシーマージン比率」という言葉をご存知でしょうか?

保険業法で定められた保険会社の健全性を示す指標なのです。いわゆる会社の健康診断のようなもの。この比率は200%以上あれば「健全」という見方なのですが、日本生命は1,047%、一方、大樹生命は1,177%と親を凌駕しております。倍返しとまではいきませんが、日本生命グループと三井グループの両資本が入っている当社は健康、健全そのものなのです。しかも私ども大樹生命を除き、日生単体で見た場合は979%しか

ございません。ちょっとだけ抵抗してみましたが、私ども仲良く運営しておりますので誤解無きよう宜しくお願いします。

さて、私は1968年4月生まれです。ごく普通のサラリーマン世帯の両親から育ちました。福岡県柳川市で生まれたのち北九州市小倉へ引っ越して参りました。当時はかなり治安が良くないイメージを持っています。小学校~高校まで地元で育っておりましたし、親の都合で高校卒業後は就職を選択させられ、就職予定をしておりました。小学校~高校2年の冬までは野球をやっておりましたが、その後バスケット部の勧めでバスケットボール部へ。高校3年、最後の試合に大学の監督さんが高校生の試合を見学に来られていました。試合後、声を掛けられ、あれよあれよで自宅にまで監督さんが来られどうやらスカウトのようでした。私の出場した試合を観戦されたようで、ディフェンスの様子が大変気に入ったようでした。野球の経験者ならお分かりいただけると思うのですが、内野手は腰を落としてボールを補給いたします。イレギュラーで取り損ねが無いように極力ショートバウンドで補給に行くのですが、私は小学校~高校までのポジションはショート、ファースト、ピッチャーでしたので、しっかり腰を落として守らなければなりません。バスケットボール部へ転籍し、ディフェンスをしていた際、自然と腰を落とすこととなりました。187cmの人間がカニ歩きのように動き回っている様子はかなり滑稽に映ったと思います。自宅で父が鬼の形相で待ち構えておりましたが、監督さんが入学金、学費等お金の心配は一切ございません。と言ったとたんに「どーぞ、どーぞ」と簡単に私は売られた感を受けましたが、何はともあれ九州産業大学へ進むことが出来ました。自分の運の良さを感じました。

大学卒業後は監督さんのご友人が三井生命の人事をされていた事も有り、旧三井生命保険相互会社へ入社。当時の本社は東京都大手町1-2-3のはずでしたが、入社式には男性ばかりの40名程度。神田の雑居ビル。「あれ?女子は?」などと思っていると入社式スタート。大手町本社では総勢200名以上の男女が社長から祝辞を受け、スタート。この時初めて、「あ、やばい、ブラック」と思いましたが時既に遅く、地獄の日々を送っておりました。40名の同期も1年後は半分、現在は3名。今はみなそれなりのポジションで活躍しておりますので、運が良かったという事にしてます。話は大きく変わりますが29歳の時、7年付き合った彼女と別れました。私は『悪魔の女性・関門海峡真珠事件』と命名してます。婚約指輪も渡し、さああとは結婚式、披露宴と言うタイミングの3ヶ月前に、突然「昔付き合ってた彼がアメリカから戻って来たから結婚は取りやめたい」と言い出し、婚約指輪を戻してきました。当時彼女へ渡した婚約指輪は真珠でした。彼女のリクエストで「ダイヤをもらっても使うタイミングが無いので、真珠にしてくれない!？」ということでした。彼女のリクエストに答え、さらに「私

も一緒に探した方が良くない？」と彼女は言い出し、一緒に探す中で、ネックレス、ピアスまでも欲しいと言い出し、結局3点セットで総額170万円。北九州黒崎そごうに当時高校の同級生がいましたので、社員割引も効かせてもらい、145万で購入。ボーナス6回払。私は彼女に「結婚してもローンが残るけど頑張るからね」と告げたが、全く反応が無かった。そうやって二人で選んだ真珠を「昔の彼氏と寄りを戻したいから返す・・・」ええ・・・うそでしょう!?

私は観念し、「もういい、だったらもうこれは君にあげるよ」と彼女に伝えると、彼女は「もったいないじゃない。次に付き合う人にあげたらいいのに・・・」と。何度もやる、いらぬ、やる、いらぬを繰り返して、「最後だよ、あげるからこれ持って先に店出て。」と告げたが「いらぬ」と言ったので、下関、唐戸市場に隣接するカフェを出た私は、関門海峡へ箱のまま投げ捨てました。自分でもよくやった!と褒めてあげました。しかし3日後、「なんでなんなバカな事したんだ!」「質屋さんへ持っていけば半値ぐらいにはなったんじゃないかあ? ああ～・・・」反省の日々が続きました。当時29歳でした。

月日は流れ31歳の時、新しい女性と知り合い結婚しました。捨てる神あれば拾う神あります。「結納も結婚式もしなくていい。したくない。」という女性で助かりました。一応指輪だけは準備して渡しました。35,000円のファッションリングでしたが大喜びしてくれたことを今でも覚えています。現在結婚して20年が経ち、子供も大学2年生。おかげさまで、私はなんだかんだで、運がいいんです。

会社生活も東京(神田)→両国→山口・宇部→長門→東京(小平)→東京(ひばりが丘)→池袋(板橋)→北九州(黒崎)→大阪(布施)→埼玉・川越→三重県→福岡・大牟田→福山 です。

こちらにお世話になるにあたっては瀬来さんから烈火のクラブ加入勧奨を受けたかと思うと、仲達さんからは「入った方が良く思うよ・・・!(^_^)!!」と優しく誘われながらも、「断ったら日生の中嶋さんが何て言うかなあ・・・?」と、遠回しに牽制され、これは先回りだと思い、中嶋さんへ「私、加入した方がいいでしょうか?」と問うと「どっちでもいいんじゃない?」と、強引な勧誘はなし。人間、アメとムチとはよく言ったものです。私は加入を決断いたしました。この勧誘方式は福山南ロータリーの必殺技だと感じておりました。潔く瀬来さんに加入のお願いに上がり、めでたく福山南ロータリーへ入会させていただきました。やっぱり私は運がいい。このような晴の舞台である新入会員卓話に親(瀬来さん)が欠席とはどうゆうことでしょうか?親に褒めてもらおうと、寝ずに準備をしてきた子の気持ちは・・・「親が無くとも子は育つ」という事にいたします。私のような若輩のつたない話を聞いてくださりありがとうございます。ご清聴感謝申し上げます。



～お知らせ～

【YAC11月事業のご案内】

日時：11月15日(日) 13:20～16:00

場所：備後地域地場産業振興センター

テーマ：川田先生のプログラミング教室

「プログラムによる音楽付きイルミネーションを作ろう」講師/広島大学教育学部技術・情報コース 川田和男先生、広島大学教育学部学生の皆さん

持参物：筆記用具・マスク・はさみ・カッター・物差し・タオル・飲み物

会費：2,000円(1キットあたり)

申込締切：11月1日(日) ※厳守

【福山プロバスクラブ11月例会のご案内】

日時：11月18日(水) 18:30～20:30

場所：福山ニューキャッスルホテル

プログラム：ゲスト卓話/NPO 法人国際オリガミ協会 認定講師 作田芳子氏

テーマ：「折形から学ぶ日本の美しいオリガミ文化」

コロナ禍のため、不規則な例会になっていますが、折紙の実習もあり楽しいひとときが過ごせることと思います。メイクアップにご活用下さい。

本日例会[第2732回]	10/29(木)	12:30～
--------------	----------	--------

第39回中学生の主張大会入賞者スピーチ上映		
-----------------------	--	--

次回例会[第2733回]	11/12(木)	12:30～
--------------	----------	--------

11月雑誌紹介/今田雑誌委員長		
ゲスト卓話/福山市文化観光振興部文化振興課 築城400年事業推進担当課長 渡邊真悟 様		

☆13:35～ 11月定例理事役員会		
--------------------	--	--

次々回例会[第2734回]	11/19(木)	12:30～
---------------	----------	--------

会員卓話予定		
--------	--	--

◇11/5(木) 休会/定款第7条第1節

◇11/26(木) 休会/定款第7条第1節

(クラブ週報担当：中嶋 徹)